

■ 今朝の結論

5月17日 最新市場サマリー

米PPI上振れで利下げ期待が後退し、**ハイテク主導の急落**。今日の東市場は「**半導体売り**」と「**バリュー株買い**」の激しい二極化へ。

■ 米国主要指数の結果

NYダウ

49,526.17

▼ **-537.29**

S&P 500

5,246.68

▼ **-65.11**

NASDAQ

16,511.18

▼ **-315.42**

ナスダック100

18,322.84

▼ **-385.20**

SOX指数

4,811.52

▼ **-162.15**

(※一部指数はソースデータに基づく直近値)

Anchor's Desk



「米PPIの上振れにより、市場が期待していた『早期利下げシナリオ』が一時停止となりました。ダウが500ドル超の下落を見せたほか、エヌビディア決算を控えた警戒感も重なり、ハイテク株を中心に広範な売り込まれる厳しい1日となっています。」

なぜ動いたのか？背景と要因分析

01【起因】

経済指標の上振れ



- 米PPI（生産者物価指数）が予想を上回るインフレ圧力を示唆。
- さらに米小売売上高も底堅く、景気後退懸念が払拭される。

02【反応】

利下げ観測の後ずれ



- 「インフレ高止まり+景気堅調」により、FRBの早期利下げ期待が後退。
- 米金利に上昇圧力がかかり、株式市場全体の重しに。

03【結果】

成長株からバリュー株への資金移動



- 金利上昇に弱い「グロース（成長株）」に猛烈な逆風。
- 目前に迫る米エヌビディア決算への警戒感から、AI・半導体関連が売られ、「成長→バリュー」の選別物色が加速。

今日の日本市場への影響と見通し



逆風（下落圧力）

日経平均の大幅ギャップダウン：
先物の動きや米国株安を受け、800円～1
200円規模の急落スタートが濃厚。

AI・半導体セクターへの売り波及：
東エレク、アドテスト、レーザテクなど、こ
れまで市場を牽引してきた主力ハイテク株が
本日の最大の重しに。



追い風・下支え（注目セクター）

「バリュー株」への資金逃避：
米国同様、日本市場でも三井住友F、三菱
UFJ、オリックスなどの金融・高配当バリ
ュー株へ資金が向かう選別物色が鮮明に。

1ドル158.72円の円安圧力：
為替の円安推移が、トヨタやキヤノンなど輸
出関連企業の底堅さをサポート。

「指数全体はリスクオフでも、内部では『半導体売り・バリュー買い』の明確な資金移動が起きています。今日は日経平均の下げ幅よりも、バリュー株の強さに注目です。」

■ 今日の注目イベントとまとめ



[15:00] イギリス 3月 ILO失業率 (前回: 4.9%)



[23:00] アメリカ 4月 中古住宅販売成約指数
(予想: 1.6%)



[明日] イギリス 4月 消費者物価指数(CPI)
(前回: 3.3%)



Key Focus: 決算期の業績修正が銘柄間格差を拡大中。見通しの精度が今後の明暗を分けます。



**激動の相場も、毎朝の3分で
確かな見通しを。**

明日の朝も出勤前に最新の市場
動向をズバツとお届けします。
ぜひチャンネル登録をしてお待
ちください！

 **チャンネル登録**